



2017年2月8日

各位

会社名

 **日医工株式会社**

(証券コード 4541 東証第1部)

代表者名 代表取締役社長 田村友一

お問合せ先 執行役員 社長室長 東満之

TEL 076-442-7026

**ピシリバクタ静注用 0.75g/1.5g/3g
効能・効果および用法・用量の追加のお知らせ**

日医工株式会社は、スルバクタムナトリウム及びアンピシリンナトリウム配合剤のピシリバクタ静注用 0.75g/1.5g/3g につきまして、2017年2月8日、下記の通り、効能・効果および用法・用量の追加に関する承認を取得いたしましたのでお知らせいたします。

これにより、先発医薬品と効能・効果および用法・用量が同一となります。

当社はジェネリック医薬品の普及のため、先発医薬品との「効能・効果」および「用法・用量」の違いを早期に解消し、患者様や医療関係者の皆様が安心してご使用いただけるよう取り組んでまいります。

記

【効能・効果】

<適応菌種>

本剤に感性のブドウ球菌属、肺炎球菌、モラクセラ（ブランハメラ）・カタラーリス、大腸菌、プロテウス属、インフルエンザ菌

<適応症>

肺炎、肺膿瘍、膀胱炎、腹膜炎

【用法・用量】

[肺炎、肺膿瘍、腹膜炎の場合]

通常成人にはスルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウムとして、1日6g(力価)を2回に分けて静脈内注射又は点滴静注する。なお、重症感染症の場合は必要に応じて適宜増量することができるが、1回3g(力価)1日4回(1日量として12g(力価))を上限とする。

[膀胱炎の場合]

通常成人にはスルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウムとして、1日3g(力価)を2回に分けて静脈内注射又は点滴静注する。

通常小児にはスルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウムとして、1日60～150mg(力価)/kgを3～4回に分けて静脈内注射又は点滴静注する。

静脈内注射に際しては、日局注射用水、日局生理食塩液又は日局ブドウ糖注射液に溶解

し、緩徐に投与する。
なお、点滴による静脈内投与に際しては、補液に溶解して用いる。

(下線部追加)

以 上